ERIODICAL

鮪漁業 第六十九号 昭和三十五年五月十日発行（毎月一回十日発行）
昭和三十一年二月二十三日 第三種郵便物認可

LIBRARY
JUL 12 1960
FISH & WILDLIFE SERVICE

鮪漁業

TUNA FISHING

THE INVESTIGATIVE SOCIETY OF TUNA FISHERY JAPAN

鮪漁業研究会

No. 69, 1960

クレモナ

万漁 鮪延縄（10番手）

クレモナ10番手糸は、特に太物製品に適するように新しく製造した原糸です。その性能は従來の20番手糸と同様ですが、強力の点で特に優れているのが特長です。鮪延縄には、"用途に應じてより適した原糸クレモナ10番手製品をおすゝめします。

説明パンフレット進呈

倉敷レイヨン株式会社・大阪市北区梅田2・東京都中央区日本橋室町2

光電の方探

Koden のロラン

株式會社 光電製作所

東京都品川区上大崎長者丸284

電話白金(44)代表1131〜7番

Koden Electronics Co. Ltd.

1960 目次 No. 69

鮪漁船紹介　☆第18崎吉丸　☆第21全功丸
鮪漁況速報　1960年4月上旬，4月中旬，4月下旬
鮪漁場図　1959年7月操業

1959年7月に於ける鮪漁場の漁況と海況の概要
（南水研，神水試委託調査船68隻の資料による）…… 1
Fishing and Sea Condition of Tuna Fishing grounds in July 1959
(By the data collected from the 68 appointed boats) …… 1
1. 操業船の分布…… 1　2. 海況…… 1
3. 漁況…… 1
A. 東部太平洋第2,3漁場…… 1　B. 中部太平洋第1漁場…… 1
C. 中部太平洋第2,3漁場…… 2　D. 西部太平洋第2漁場…… 2
E. 西部太平洋第3漁場…… 2　F. 西,中部太平洋第4漁場…… 2
G. 中部太平洋第5漁場…… 2　H. 東部印度洋漁場…… 2
I. 北,中,南部印度洋漁場…… 3
月別，漁場別，鮪類漁獲調査表（1959年7月操業分）別表1 …… 4
月別，漁場別，鮪類体長組成表（1959年7月操業分）別表2 …… 6
マグロ漁況概況予報（1960年7月）……神奈川県水産試験場…… 8

まぐろ研究報告の紹介 No.12
濠印諸島海域のメバチの体長組成……三村皓哉……11
西部太平洋におけるビンナガの産卵……上柳昭治……11
鮪漁業研究会会員名簿（続）……12
本会の図書誌の分譲其の他について……15
鮪類水揚価格表（三崎）昭和35年4月…… 7

各種漁船用ディーゼル機関は定評ある
50馬力～5000馬力

株式会社 赤阪鉄工所

本社　東京都中央区銀座一ノ三（千成屋ビル）電話京橋（561）4902～3
北海道出張所　札幌市北区四条西六丁目（北洋ビル）電話（3）4507
大阪出張所　大阪市東区北浜四ノ三八　電話北浜（23）4790
工場　静岡県焼津市中港町五九四　電話（焼津）2121～5

第18　崎　吉　丸

船　　主	崎吉漁業株式会社
造船所	株式会社　三保造船所
主要寸法	長44.50m×幅8.00m×深3.90m
総屯数	379.31屯
魚艙容積	404.90m³
燃料油艙	233.22m³
速　　力	最大　12.63節
主　　機	デーゼル750HP（新潟鉄工）　1基
補　　機	デーゼル165HP（ヤンマー）　2基
無　　線	500W，100W（日本無線）　各1基
冷凍装置	日新興業設計施工 アンモニヤ直膨式　6A4B 50HP 3基
レーダー（東計），方探（光電），音測（産研），M.C.P. 其の他	各1式
竣　　工	昭和34年12月5日

漁船用中短波無線送受信装置
漁船用中短波無線電話装置
作製工事販売保守一式

合資会社　三崎無線電

本社・営業所　三浦市三崎町仲崎187
電　化　部　三浦市三崎町仲崎167
電　工　部　三浦市三崎町原3163
工　　　場　三浦市三崎町原660

漁船の冷凍装置に定評ある

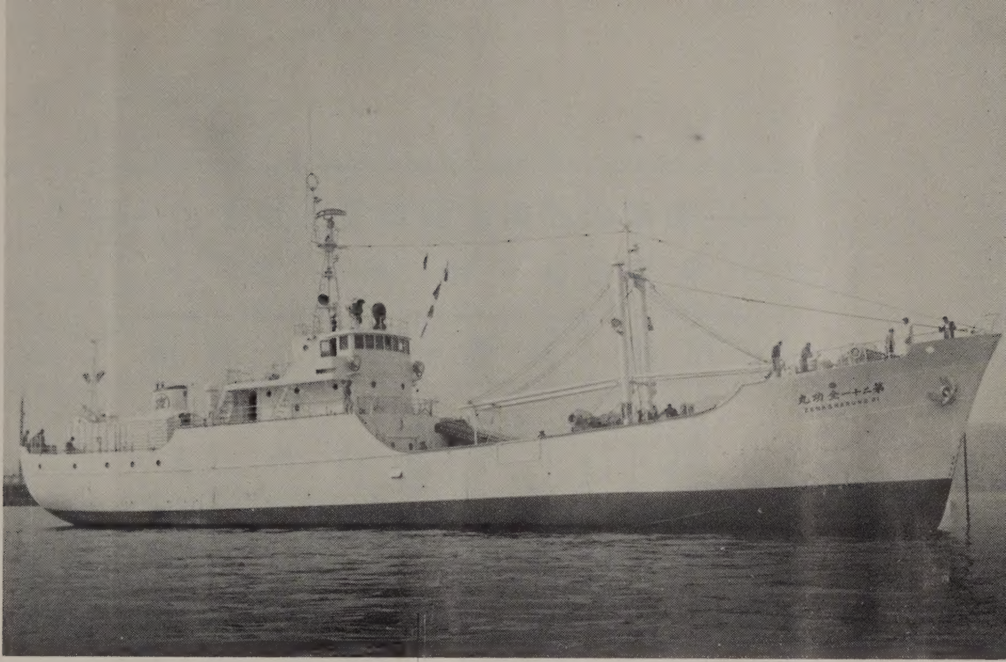
日新興業株

本　　社　大阪市北区中之島3の3（朝日ビル）
東京支店　東京都中央区銀座西6の3（朝日ビル）
室戸出張所　高知県室戸市室津
清水出張所　清水市三保本村四区
三崎出張所　神奈川県三浦市三崎町西野3
石巻出張所　宮城県石巻市門脇町104

鋼製漁船・貨物船・其の他各種船舶の建造並に修理

株式会社　三　保　造　船　所

本社　工場　静岡県清水市三保3797　電話清水(2)代表2201番
東京事務所　東京都中央区八重洲3の7（東京建物ビル）　電話東京（281）代表6341番



第21　全　功　丸

機工業所

電話（三浦）3431番
電話（三浦）2543番
電話（三浦）2864番
電話（三浦）2960番

装備船名
第21全功丸
第26全功丸
第3成洋丸
第8豊州丸
第28事代丸
第32大黒丸
其の他

式会社

TEL. 北浜（23）9736（代表）
TEL. 銀座（571）7607（代表）
TEL. 室戸　352
TEL. 清水（2）3507
TEL. 三浦　2751
TEL. 石巻　505

施工船名
第18崎吉丸
第21全功丸
第26全功丸
第18薩州丸
第5富士丸
永京丸
（其の他約七百隻）

船主　奥津水産株式会社
造船所　株式会社　金指造船所

主要寸法	長46.18m×幅8.80m×深4.30m
総屯数	475.30屯
魚艙容積	603.91m³
燃料油艙	285.75m³
速力	最大　12.64節
主機	デーゼル1,100HP過給機付（赤阪鉄工）1基
補機	デーゼル200HP（　〃　）2基
無線	500W，125W（三崎無線）各1基
冷凍装置	日新興業設計施工 アンモニヤ直膨式　7″×7½″　65HP　3基
レーダー（神戸工業），ローラン（東計），方探（光電）音測（海上）G.C.P.　其の他	各1式
竣工	昭和35年3月31日

各種鋼製漁船の建造並に修理

株式会社　金指造船所

本社工場　清水市三保4010—19　電話　清水(2)4111～5
塚間工場　清水市三保弁天492　電話　清水(2)5151～2
東京事務所　東京都港区芝田村町3ノ4　電話　芝(591)1306～8
三崎出張所　三浦市三崎町西野34　電話（三浦）2851

――多年の技術と経験を生かす！――

営業種目　船舶・陸上

冷凍・冷蔵・製氷・冷房

冷凍・冷蔵・製氷工場
急速・空気凍結装置・冷房装置
冷凍機械器具・防熱装置
船舶冷凍冷蔵
設計　製作　施工

協同低温工業株式會社

本　社　東京都千代田区神田佐久間町1―21（山伝ビル）
電話（291）6101～5（内線31～3）
（291）7506（直通）
札幌営業所　札幌市北五条西5丁目　電話　札幌(2)4895

JRC 漁船用無線装置

常に耕し研究と最高技術を

定評ある送信機
優秀な受信機
新設計の船内拡声装置
超小型魚群探知機

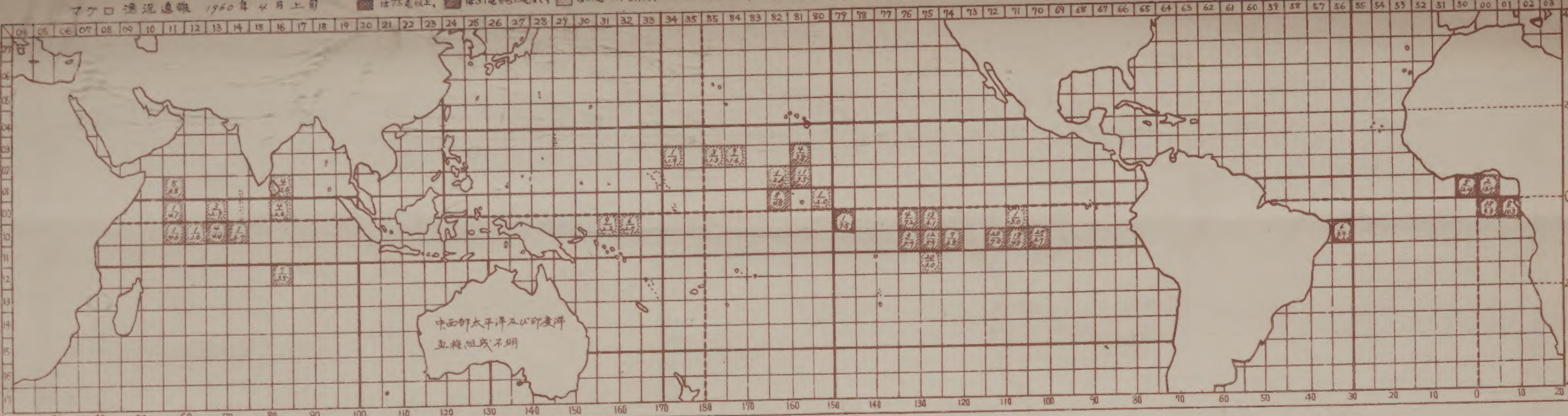
日本の誇り
国産レーダー
漁場の測定に
ロラン受信機
安全航海に
気象模写受信装置

本社・工場　東京都三鷹市上連雀930
事業部　東京都港区芝田村町1の7
第3森ビル（5・6階）
大阪支社　大阪市北区堂島中1の22

JRC
日本無線

マグロ漁況速報 1960年 4月上旬

▩ は7.5屯以上, ▨ は3.1屯から7.5屯まで, ☐ は3.1屯以下を示す。 また, 上段の数字は延操業回数 下段の数字は操業一回当り平均漁獲屯数を示す。



(海区の名称)

符号	名称	範囲	符号	名称	範囲	符号	名称	範囲
アラ	アラビア海	N5°以北, E80°以西	西太4	西太平洋4	S10°-S30°, E130°-E170°	東太3	東太平洋3	N5°-S10°, W150°以東
ベン	ベンガル湾	N5°以北, E80°-E100°	〃5	〃 5	S30°以南, 〃	〃4	〃 4	S10°-S30°, 〃
中印	中印度洋	N5°-S10°, E120°以西	中太1	中太平洋1	N20°以北, E170°-W150°	〃5	〃 5	S30°以南, 〃
南印	南印度洋	S10°以南, E20°-E120°	〃2	〃 2	N5°-N20°, 〃	西大北	西大西洋北部	N5°以北, W30°以西
南支	南支那海	N5°以北, E120°以西	〃3	〃 3	N5°-S10°, 〃	〃中	〃 中部	N5°-S5°, 〃
西太1	西太平洋1	N20°以北, E120°-E170°	〃4	〃 4	S10°-S30°, 〃	〃南	〃 南部	S5°以南, 〃
〃2	西太平洋2	N5°-N20°, 〃	〃5	〃 5	S30°以南, 〃	東大北	東大西洋北部	0°以北, W30°以東
〃3	西太平洋3	N5°-S10°, 〃	東太1	東太平洋1	N20°以北, W150°以東	〃南	〃 南部	0°以南, 〃
濠西	濠州西方	S10°以南, E120°-E130°	〃2	〃 2	N5°-N20°, 〃			

(魚種組成)

海区	キハダ	メバチ	ビンナガ	インド	ゴウシュウ	クロカワ	シロカワ	マカ	メカ
東太3	19.2	68.7	3.4			6.9	0.3	1.2	0.3
東太4 1175	4.2	15.5	72.4			7.1	0.2	0.5	

(概況)

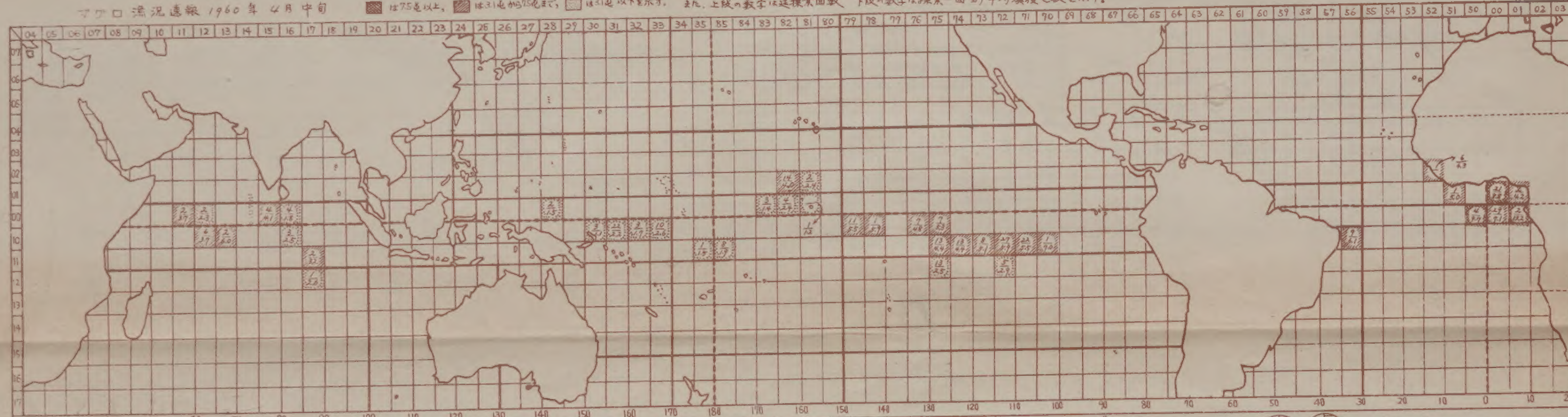
太平洋　東太3はメバチがS2°〜5°では好漁終期　S5°〜7°では好漁盛期に当たるので　赤道〜S10°のほとんどの海区が5.5〜7屯の好漁であった。

大西洋　アフリカのガーナ・ニジェリア沖合の海域は引続き9屯以上の漁獲を示している。(漁獲物のほとんどがキハダ)　ブラジルのレシフエ沖漁場では漁獲7.7屯中約5屯がクロマグロであった。

(註) 漁場小区分の番号ー緯度,経度の番号で示す。北緯の東経では夫々の番号に5をかけた数値から5°上位までの範囲。南緯、西経は夫々10及50から始まるので、これらの数値から10及50を引いて5°をかけたものから5°上位までの範囲

マグロ漁況速報 1960年 4月中旬

▩ は7.5屯以上, ▨ は3.1屯から7.5屯まで, ☐ は3.1屯以下を示す。 また, 上段の数字は延操業回数 下段の数字は操業一回当り平均漁獲屯数を示す。



(海区の名称)

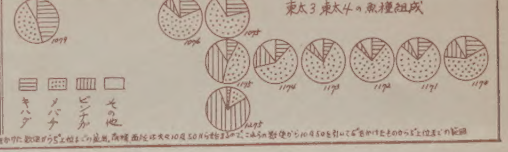
符号	名称	範囲	符号	名称	範囲	符号	名称	範囲
アラ	アラビア海	N5°以北, E80°以西	西太4	西太平洋4	S10°-S30°, E130°-E170°	東太3	東太平洋3	N5°-S10°, W150°以東
ベン	ベンガル湾	N5°以北, E80°-E100°	〃5	〃 5	S30°以南, 〃	〃4	〃 4	S10°-S30°, 〃
中印	中印度洋	N5°-S10°, E120°以西	中太1	中太平洋1	N20°以北, E170°-W150°	〃5	〃 5	S30°以南, 〃
南印	南印度洋	S10°以南, E20°-E120°	〃2	〃 2	N5°-N20°, 〃	西大北	西大西洋北部	N5°以北, W30°以西
南支	南支那海	N5°以北, E120°以西	〃3	〃 3	N5°-S10°, 〃	〃中	〃 中部	N5°-S5°, 〃
西太1	西太平洋1	N20°以北, E120°-E170°	〃4	〃 4	S10°-S30°, 〃	〃南	〃 南部	S5°以南, 〃
〃2	西太平洋2	N5°-N20°, 〃	〃5	〃 5	S30°以南, 〃	東大北	東大西洋北部	0°以北, W30°以東
〃3	西太平洋3	N5°-S10°, 〃	東太1	東太平洋1	N20°以北, W150°以東	〃南	〃 南部	0°以南, 〃
濠西	濠州西方	S10°以南, E120°-E130°	〃2	〃 2	N5°-N20°, 〃			

(魚種組成)

海区	キハダ	メバチ	ビンナガ	インド	ゴウシュウ	クロカワ	シロカワ	マカ	メカ	雑
西太3	93.5	2.7	0.1			2.1	0.4			1.2

(概況)

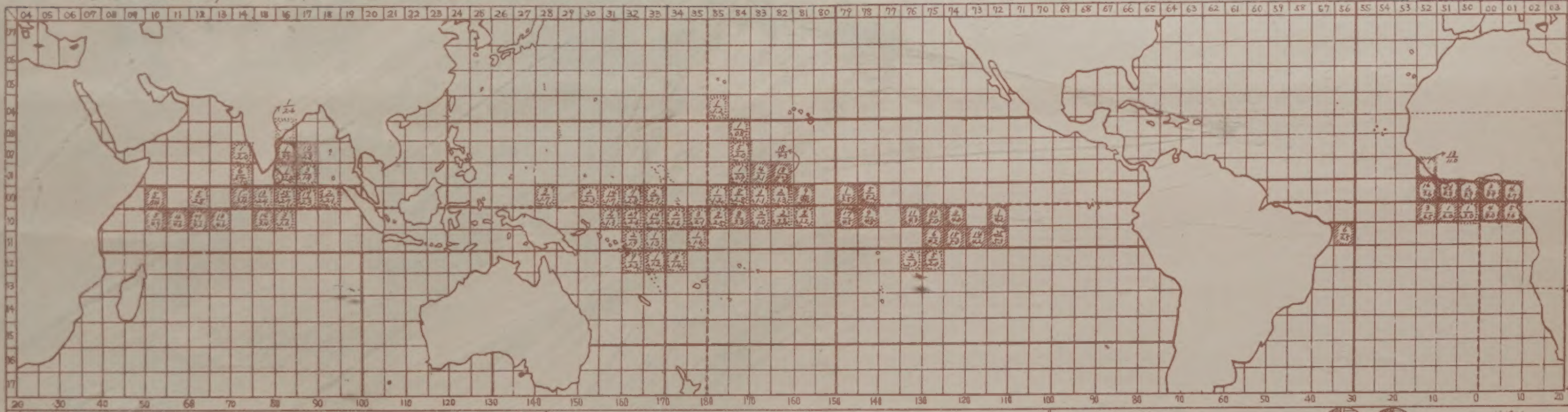
東太3　上旬に比較して110°W以西がやゝ減少し、以東は逆にやゝ増大した。1175〜1170海区ではほとんどの船がS6°〜8°で操業している。



(註) 漁場小区分の番号ー緯度,経度の番号で示す。北緯の東経では夫々の番号に5をかけた数値から5°上位までの範囲。南緯、西経は夫々10及50から始まるので、これらの数値から10及50を引いて5°をかけたものから5°上位までの範囲

マグロ漁況通報 1960年 4月 下旬

■は7.5尾以上, ▨は3.1尾から7.5尾まで, □は3.1尾以下を示す。 上段の数字は延操業回数、下段の数字は操業一回当り平均漁獲尾数を示す



(海区の分類)

符号	名称	範囲	符号	名称	範囲	符号	名称	範囲
アラ	アラビア海	N5°以北, E80°以西	西太4	西太平洋4	S10°-S30°, E130°-E170°	東太3	東太平洋3	N5°-S10°, W150°以東
ベン	ベンガル湾	N5°以北, E80°-E100°	〃5	〃 5	S30°以南, 〃	〃4	〃 4	S10°-S30°, 〃
中印	中印度洋	N5°-S10°, E100°以西	中太1	中太平洋1	N20°以北, E170°-W150°	〃5	〃 5	S30°以南, 〃
印南	南印度洋	S10°以南, E20°-E120°	〃2	〃 2	N5°-N20°, 〃	西大北	西大西洋北部	N5°以北, W30°以西
南支	南支那海	N5°以北, E120°以西	〃3	〃 3	N5°-S10°, 〃	〃中	〃 中部	N5°-S5°, 〃
西太1	西太平洋1	N20°-N45°, E120°-E170°	〃4	〃 4	S10°-S30°, 〃	〃南	〃 南部	S5°以南, 〃
〃2	西太平洋2	N5°-N20°, 〃	〃5	〃 5	S30°以南, 〃	東大北	東大西洋北部	0°以北, W30°以東
〃3	西太平洋3	N5°-S10°, 〃	東太1	東太平洋1	N20°以北, W150°以東	〃南	〃 南部	0°以南, 〃
濠西	濠州西部	S10°以南, E100°-E130°	〃2	〃 2	N5°-N20°, 〃			

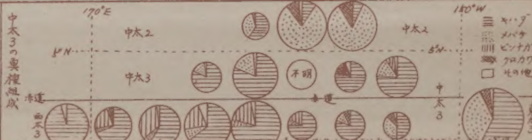
(魚種組成)

海区	キハダ	メバチ	ビンナガ	インド	ミナミマグロ	クロカワ	シロカワ	マカ	メカ	雑
アラ	69.5	16.2				10.6	1.3	2.0	0.4	
ベン	47.5	26.2				7.1	4.3	12.7	1.7	0.4
中印	73.7	15.0	4.7			3.0	0.9	2.2	0.4	
西太3	90.4	4.2	0.3			3.1	0.3		0.2	1.6
西太4	36.6	4.9	54.9			2.6	0.9			0.2
中太2	8.5	78.0				12.9		0.4	0.3	
中太3	73.8	9.3	13.7			2.4	0.4		0.1	0.4
中太4	53.5	5.9	34.8			3.2	2.1			0.5
東太3	31.0	54.2	7.5			5.4	0.3	1.1	0.5	

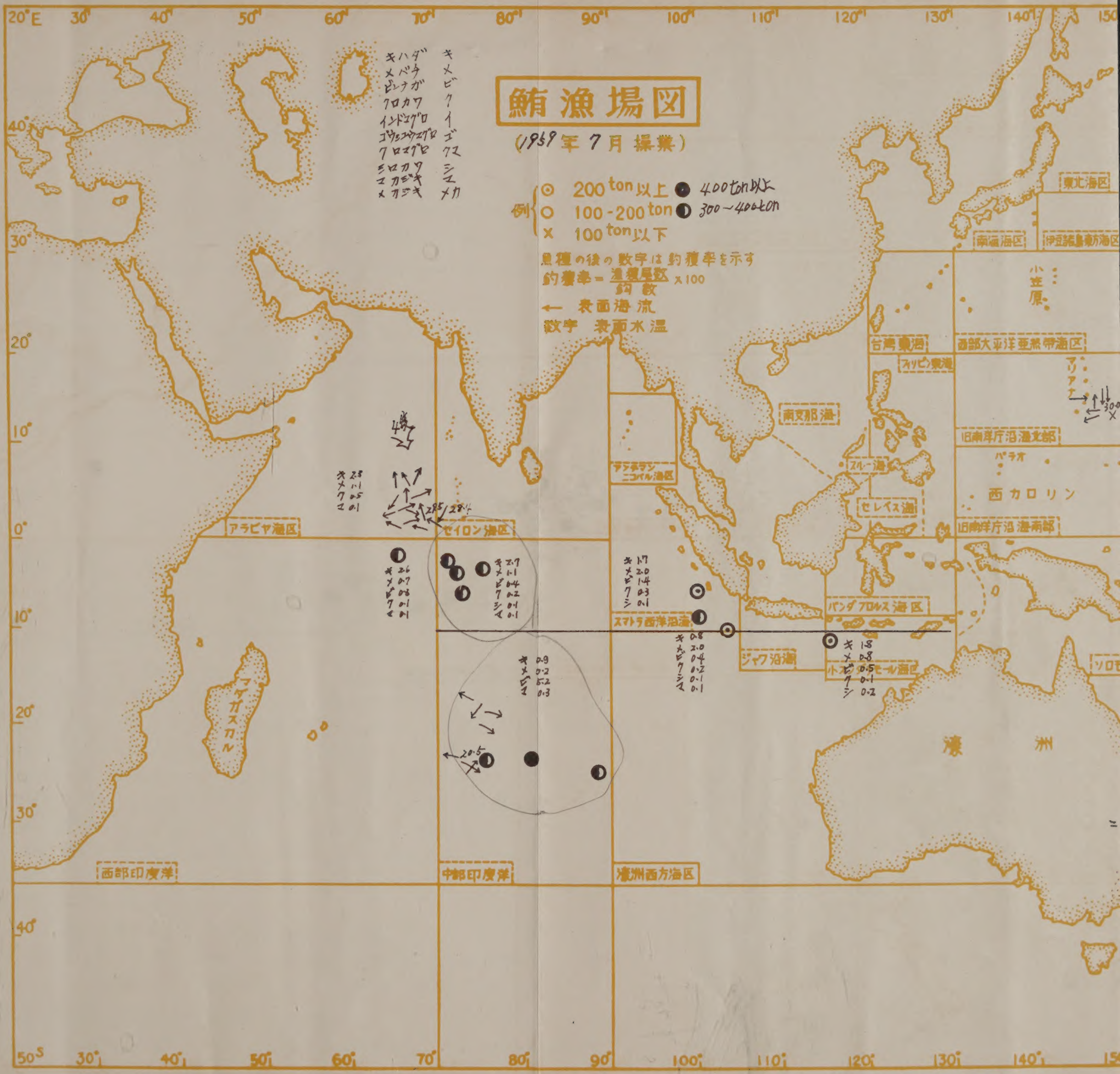
(概況)

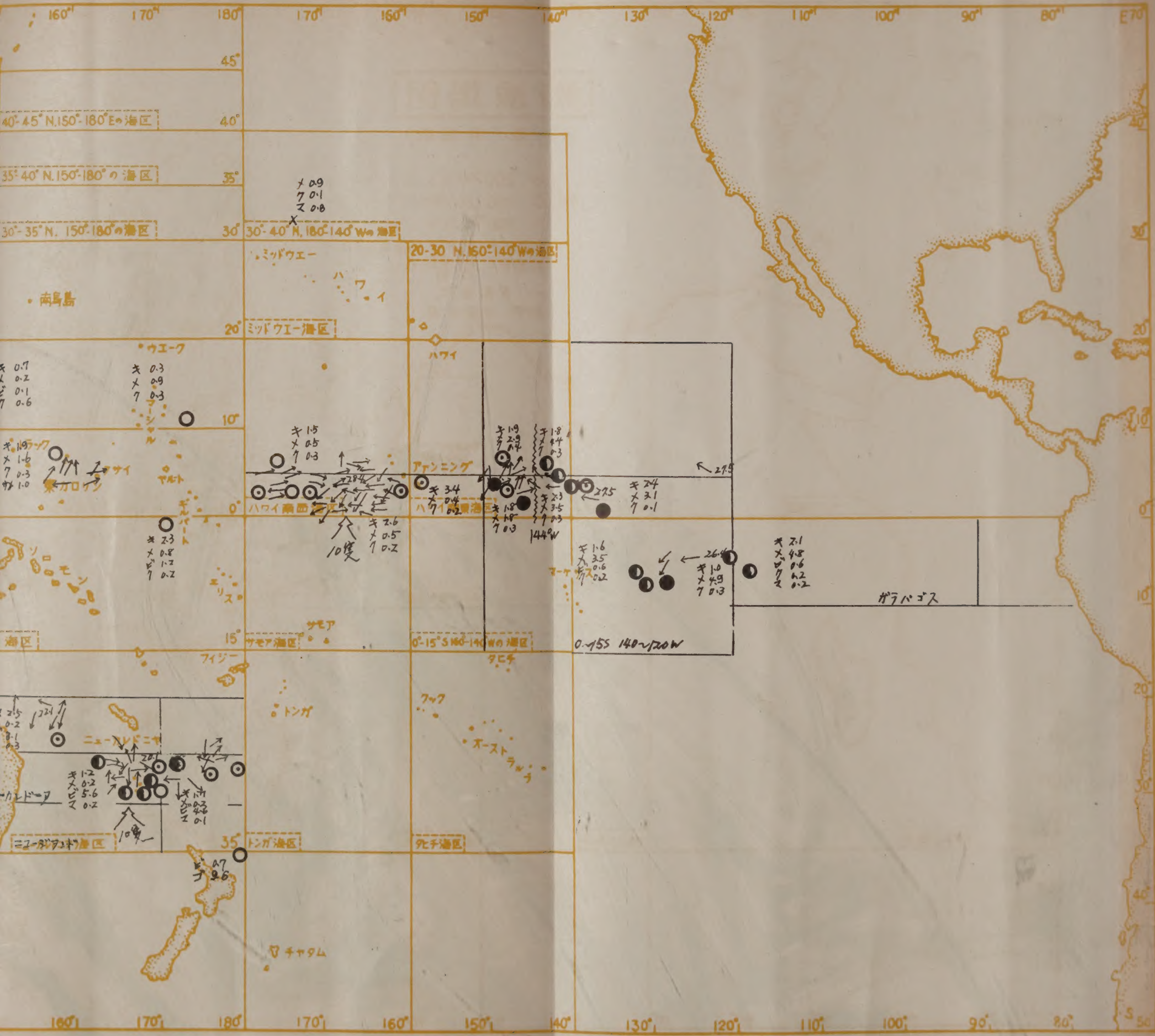
中太3は今まで資料が極僅かであり, 今回も少ないが, 魚種組成がわかったので右図に示す。 主漁獲物はキハダだが 赤道以南のE170°〜W165°ではビンナガが, W165°以東ではメバチ・クロカワが混獲されている。

中太3の魚種組成



(註) 漁場小区域の番号一緯度,経度の数字で示す。 [illegible]


鮪漁場図
(1959年7月操業)
キハダ キ
メバチ メ
ビンナガ ビ
クロカワ ク
インドマグロ イ
ゴウシュウマグロ ゴ
クロマグロ クマ
シロカワ シ
マカジキ マ
メカジキ メカ
例 ◎ 200 ton 以上 ● 400ton以上
○ 100-200 ton ◐ 300~400ton
× 100 ton 以下
魚種の後の数字は釣獲率を示す
釣獲率 = 漁獲尾数 / 釣数 ×100
← 表面海流
数字 表面水温
東北海区
南海海区
伊豆諸島東方海区
小笠原
台湾東海
フィリピン東海
西部太平洋亜熱帯海区
マリアナ
南支那海
旧南洋庁沿海北部
パラオ
西カロリン
旧南洋庁沿海南部
スルー海
セレベス海
アンダマン ニコバル海区
アラビヤ海区
セイロン海区
スマトラ西岸沿海
ジャワ沿海
バンダ フロレス海区
チモール海区
マダガスカル
濠洲
西部印度洋
中部印度洋
濠洲西方海区
20°E 30° 40° 50° 60° 70° 80° 90° 100° 110° 120° 130° 140° 150°
40° 30° 20° 10° 0° 10° 20° 30° 40° 50°S



40°-45°N.150°-180°Eの海区
35°-40°N.150°-180°の海区
30°-35°N. 150°-180°の海区
30°-40°N, 180°-140°Wの海区
20-30 N.160°-140°Wの海区
ミッドウエー
ハワイ
南鳥島
ミッドウエー海区
ウエーク
マーシャル
東カロリン
ギルバート
ハワイ南西海区
ハワイ南東海区
ファンニング
マーケサス
ガラパゴス
0-15S 140-120W
サモア
サモア海区
0°-15°S 160-140Wの海区
フィジー
タヒチ
クック
トンガ
オーストラル
ニューカレドニヤ
ニューカレドニア
ニュージーランド海区
トンガ海区
タヒチ海区
チャタム
エリス
ソロモン
144°W

1959年7月に於けるマグロ漁場の漁況と海況の概要

（南水研、神水試委託調査船68隻の資料による）

Fishing and Sea Condition of Tuna Fishing Ground in July 1959
(By the data collected from the 68 appointed boats)

1. 操業船の分布

ハワイ南西海区5°N以南の西方に密集していた操業船は，7月には東方のファンニング諸島南西海域に移動し，ファンニング諸島から130°Wにかけて散在していた操業船は5°N，143°W周辺に密集した。6月に3隻が東西に拡がって操業していたニューカレドニア南方海域は，7月には14隻が東西に帯状に操業し，また，6月には全くみられなかった印度洋23°S の75～90°Eでは，7月には3隻が操業している。

2. 海　　　況

漁場図を見られたい。

3. 漁　　　況

A. 東部太平洋第2，3漁場（20°N～10°S，150°W以東）

キハダとメバチの分布は，5°Nの南北で異なると共に144°Wの東西でも異なり，5°N以南は以北よりメバチの漁獲が低く，且つ144°W以東に於いては以南は以北よりキハダの漁獲が高く，また，144°W以東は以西よりメバチの漁獲高く，且つ5°N以南に於いては以東は以西よりキハダの漁獲も高い。

5°N以北の144°W以西の海域は中部太平洋第2漁場と同傾向で，キハダがこの海域としては好漁期で釣獲率1.9，メバチが好漁期末期で釣獲率は中程度の2.9，5°N以北の144°W以東の海域はキハダがこの海域としては好漁期で1.8，メバチも例年の7～10°Nの水帯の傾向と一致し好漁期で4.4，5°N以南の144°W以西の海域はファンニング諸島東部周辺と異なり，キハダの漁獲が昨年（昭和33年）と同様夏季の好漁期に於ける一時的低下を起し釣獲率は1.8，メバチの漁獲がこの海域としては最盛期で同じく釣獲率1.8 5°N以南の144°W以東の海域は140°W周辺も135°W周辺も同じ漁獲で，キハダがこの海域としては好漁期で釣獲率は2.3～2.4，メバチも好漁期であり且つ例年より漁獲が高く，釣獲率は3.1～3.5となっている。

一方，4～8°Sの水帯では133～118°Wに散在して操業しており，キハダが不漁期で1.0～2.1，メバチは夏（北半球に於ける）の好漁期であるが漁獲は130°W周辺より120°W周辺の方が高く，釣獲率は130°W周辺が3.5，120°W周辺が4.8～4.9となっている。

B. 中部太平洋第1漁場（20°N以北，180～150°W）

ミッドウエー東北方の海域は，メバチは最低期で釣獲率0.9，マカジキが最盛期で釣

獲率0.6となっている。

C.　中部太平洋第2,3漁場（20°N～10°S，170°E～150°W）

マーシャル東方海域のメバチは，不漁期であるが6月より著しく漁獲が高くなり釣獲率0.9，ハワイ南西海区5°N以北はキハダがこの海域としては好漁期で釣獲率1.5，メバチは最低期で0.5となっている。

5°N以南の海域は，キハダが好漁期に於ける夏の一時低下を示し釣獲率2.6となっているが，ファニング諸島東部周辺のキハダは特別漁獲が高く釣獲率3.4となっている。

D.　西部太平洋第2漁場（5～20°N，170°E以西）*

マリアナ諸島東南方海域はキハダ，メバチ共に不漁期で，釣獲率はキハダが0.7，メバチが0.2，クロカワが好漁期で0.6，トラック島東方海域はキハダが好漁期における夏の一時釣低下で釣獲率1.9，メバチは例年の不漁期に当るが今年の夏はカロリン全海域にわたり比較的漁獲が高く，釣獲率は1.6となっている。

E.　西部太平洋第3漁場（5°N～10°S，170°E以西）

3°S，167°E周辺は，キハダは不漁期で釣獲率2.3，ビンナガがこの海域としては好漁期に入り多少の漁獲がみられる。

F.　西，中部太平洋第4漁場（10～30°S，150°W以西）

オーストラリア東端クレートサンヂー島北東海域は，ニューカレドニア東南方ノーフォーク島周辺及びその東方海域に比較し，キハダの漁獲が高くビンナガの漁獲が低い。釣獲率はキハダが高率で2.5，ビンナガは最盛期としてはやや低く3.1，ノーフォーク島周辺とその東方海域はビンナガの漁獲がやや異なるが，釣獲率はノーフォーク島周辺が5.6，その東方海域が4.6で共に最盛期である。

G.　中部太平洋第5漁場（30°S以南，170°E～150°W）

ニュージランド北東の35°S，180°周辺のゴウシュウマグロは最盛期で釣獲率は9.6，ビンナガは不漁期で釣獲率は0.7となっている。

H.　東部印度洋漁場（100°E以東）

スンバワ島南西海域は，キハダが不漁期であるが漁獲は比較的高く釣獲率1.8，メバチは好漁期初期で釣獲率0.8，ビンナガも10～12°Sは未だあまり高くなく釣獲率0.5となっている。

スマトラ南部のベンクーレン西方及び西南方海域の漁獲は，ジャワ南方クリスマス島周辺の漁獲と異る。ベンクーレン西方及び西南方海域は，キハダが低下期であるが漁場が岸よりのため漁獲は比較的高く1.7，メバチも漁場が100°E以東であるため好漁期に当り漁獲は高く釣獲率2.0，ビンナガも北上期に当り釣獲率は1.4となり，クリスマス島周辺は，キハダが不漁期で釣獲率は0.8，メバチは好漁期に入り釣獲率2.0，ビンナ

---

* 中部太平洋第4漁場は西部太平洋第4漁場の項で，中部太平洋第5漁場はそのあとの欄で報告する。

ガの漁獲はスンバワ島南西海域と同様未だあまり高くなく釣獲率0.4となっている。

I. 北，中，南部印度洋漁場（100°E以西）

マルディヴ諸島西方海域はキハダが春の好漁期を過ぎ釣獲率2.3，メバチは6月と同率で1.1，クロカワは0〜5°Nの水帯の傾向で漁獲は高く釣獲率0.5，マルディヴ諸島南方及び西南方の3—5°S周辺は，キハダが不漁期に入り釣獲率2.6〜2.7，また，23°Sの75〜90°Eの水帯は丁度1年ぶりに操業されたが漁獲は昨年（昭和33年）とほゞ同様で，釣獲率はキハダが0.9，ビンナガは多少低く5.2（昨年7月は6.2），マカジキ0.3となっている。

◇新 時 代 の 冷 凍 機◇
（高 速 多 気 筒）
ダ イ ヤ 冷 凍 機
（新 三 菱 重 工 製）
漁船船舶冷凍装置・製氷冷蔵凍結施設
設 計 ・ 製 作 ・ 施 工
株式会社 東 洋 製 作 所
本社・工場 東京都品川区東品川5の61
電話 大崎(49) 代表 2171—9番 (49) 2170・6004番 営業部直通
営 業 所 大阪市北区梅田町47（新阪神ビル）
電 話（36）代表 0974—5 （36）2171—9 （内線350—1）

『SUNISO』御 採 用 の 鮪 船
神奈川水試相模丸他大洋、日魯、五洋、清寿、徳島水産各会社所属船約50数隻

スニソオイル
SUNISO OILの
御用命は

米国サンオイル社特約販売店
日 本 興 産 株 式 会 社
本 社 東京都千代田区神田紺屋町37（丸喜ビル）
電 話 （551）5471.（291）9028
出張所 大阪市西区立売堀北通1（立売堀ビル）
日本通商内. 電 話（53）0303. 0437

月 別、漁場別、鮪類漁獲調査表

漁　　場	操業区域	調査隻数	体長測定船数	水温 (C°)	流向 流速	操業回数	漁具数	釣　数	ま きはだ	めばち
0— 20N 140—120W	1— 5N 138—128W	3	0	27.0 28.0		51	10146	96769	2296 2.36	3006 3.11
0— 15S 140—120W	4— 8S 119—139W	4	0	24.6 27.3		55	57870	284282	1597 0.56	3439 1.21
ガラパゴス	5— 8S 118—112W	1	0	24.1 25.9		21	9450	37800	795 2.10	1800 0.60
30— 40N 180—140W	29— 34N 177—171W	1	0	23.7 25.4		22	7788	31152	2 0.01	272 0.87
ハワイ南西 (5°N以北)	5— 6N 173—179W	1	0	28.3 29.6		9	3510	17500	258 1.47	92 0.53
ハワイ南西 (5°N以南)	0— 6N 163—178W	14	2	26.1 29.9		274	149637	646850	16801 2.60	3410 0.53
ハワイ南東 (5°N以北)	4— 8N 143—146W	3	0	27.3 28.5		49	50700	205380	1568 0.78	3370 1.64
ハワイ南東 (5°N以南)	3— 8N 144—159W	5	0	27.2 28.8		76	30301	141905	3207 2.26	2691 1.90
南洋北部 170°E以西)	13— 15N 147—151E	1	0	27.0 30.2		8	2750	11000	81 0.74	18 0.16
南洋北部 (170°E以東)	9— 11N 170—177W	1	0	28.0 28.4		11	4235	17820	53 0.30	157 0.88
南洋南部 (170°E以西)	6— 8N 157—162E	1	0	28.9 29.4		18	6300	25200	470 1.87	398 1.58
ソロモン	0— 4S 170—172E	1	0	28.7 29.4		17	6800	38000	877 2.31	303 0.80
ニュー カレドニア	21— 37S 158—180E	15	0	14.4 25.0		244	95477	513954	6048 1.18	1110 0.22
ニュージ ランド	36— 37S 179—180E	1	0	14.4 15.0		6	1253	6265		
小スン ダチモール	10— 11S 115—117E	1	0	26.0 26.7		5	1991	9955	178 1.79	79 0.79
スマトラ 西岸	5— 12S 97—114E	3	7	26.5 29.0		45	17947	85187	1181 1.39	1710 2.01
中部印度洋	0— 27S 62— 87E	7	7	20.0 28.9		137	45866	213095	3900 1.83	1401 0.66
アラビア	0— 8N 64— 72E	4	7	27.6 29.8		80	27504	131626	2967 2.25	1385 1.05
西部印度洋	0— 5S 60— 74E	1	7	27.0 28.3		14	5600	28000	739 2.64	199 0.71

(1959年7月 操業分)

（別 表 1）

ぐ	ろ		か	じ	き			かつお	雑	さめ	計	記事
びんなが	くろ鮪	いんど鮪	くろかわ	しろかわ	まかじき	めかじき	ばしよう					
2			118	4	6	12		74	5	2	5525	
0.00			0.12	0.00	0.01	0.01		0.08	0.01	0.00	5.71	
613			169	32	87	4		445	293	168	6848	
0.22			0.06	0.01	0.03	0.00		0.16	0.10	0.06	2.41	
225			62	10	57	9		80	53	140	3231	
0.60			0.16	0.03	0.15	0.02		0.21	0.14	0.37	8.55	
14			17		199	16	1		13	146	680	
0.04			0.05		0.64	0.05	0.01		0.04	0.47	2.18	
			55		1	1	12		14	3	436	
			0.31		0.01	0.01	0.07		0.08	0.02	2.49	
89			1070	60	18	48	22	87	323	416	22344	
0.01			0.17	0.01	0.00	0.01	0.00	0.01	0.05	0.06	3.45	
			248	20	3	13					5222	
			0.12	0.01	0.00	0.01					2.54	
			332	14	10	12	10	93	34	424	6844	
			0.23	0.01	0.01	0.01	0.01	0.07	0.02	0.30	4.82	
12			67			1	11	9	100	140	439	
0.11			0.61			0.01	0.11	0.10	0.91	1.27	3.99	
			60	1							271	
			0.34	0.01							1.52	
3	1		73			4	14	15	33	248	1259	
0.01	0.00		0.29			0.02	0.06	0.06	0.13	0.98	5.00	
437			64	6	3	2	1	24		197	1914	
1.15			0.17	0.02	0.01	0.01	0.00	0.06		0.57	5.04	
29393		732	83	21	1016	224		2	502	244	39375	
5.72		0.14	0.02	0.00	0.20	0.04		0.00	0.10	0.05	7.67	
43		601									644	
0.69		9.59									10.28	
54			6	19	3	2					341	
0.54			0.06	0.19	0.03	0.02					3.43	
1352			285	65	100	14			36		4743	
1.59			0.33	0.08	0.12	0.02			0.04		5.57	
5808		43	257	100	379	37	24		15	23	11987	
2.73		0.02	0.12	0.05	0.18	0.02	0.01		0.01	0.01	5.63	
5			697	48	180	136	52	4	34		6508	
0.00			0.53	0.04	0.14	0.10	0.04	0.00	0.03		4.18	
85			30	12	36	13					1114	
0.30			0.11	0.04	0.13	0.05					3.98	

月別、漁場別、鮪類体長組成表（1959年7月操業分）

（別表2）

魚種	測定船数	漁場	操業区域	操業回数	50 cm以下	51—60	61—70	71—80	81—90	91—100	101—110	111—120	121—130	131—140	141—150	151—160	161—170	171 cm以上	計	漁獲尾数
きはだ	1	ガラパゴス	5—8S 118—112W	21								1 9.1	2 18.2	5 45.5	1 9.1	2 18.2			11 100	795
	2	ハワイ南西 （5°N以南）	0—5N 178—162W	60						11 3.6	47 15.4	140 45.8	58 19.0	36 11.8	9 2.9	2 0.7	1 0.3	2 0.17	306 100	3398

魚種	測定船数	漁場	操業区域	操業回数	60 cm以下	61—70	71—80	81—90	91—100	101—110	111—120	121—130	131—140	141—150	151—160	161—170	171—180	181 cm以上	計	漁獲尾数
めばち	1	ガラパゴス	5—8S 118—112W	21				2 5.7	2 5.7	1 2.9	2 5.7	3 8.6	3 8.6	5 14.3	6 17.1	5 14.3	5 14.3	1 2.9	35 100	1800
	2	ハワイ南西 （5°N以南）	0—5N 178—162W	60				3 3.3	7 7.6	18 19.6	12 13.0	17 18.5	22 23.9	9 9.8	2 2.2		1 1.1	1 1.1	92 100	730

魚種	測定船数	漁場	操業区域	操業回数	130 cm以下	131—140	141—150	151—160	161—170	171—180	181—190	191—200	201—210	211—220	221—230	231—240	241—250	251 cm以上	計	漁獲尾数
くろかわ	1	ガラパゴス	5—8N 118—112W	21			1 20.0		1 20.0		1 20.0	2 40.0							5 100	62
	2	ハワイ南西 （5°N以南）	0—5N 178—162W	60		3 6.8	1 2.3	8 18.2	11 25.0	5 11.4	3 6.8	5 11.4	3 6.8	3 6.8	1 2.3	1 2.3			44 100	100

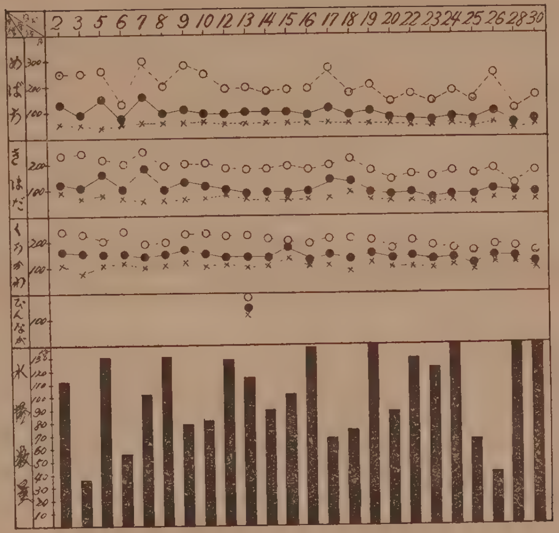
魚種	測定船数	漁場	操業区域	操業回数	130 cm以下	131—140	141—150	151—160	161—170	171—180	181—190	191—200	201—210	211—220	221—230	231—240	241—250	251 cm以上	計	漁獲尾数
しかわろわ	1	ハワイ南西 （5°N以南）	0—6N 169—162W	24							1 33.3							2 66.7	3 100	3

魚種	測定船数	漁場	操業区域	操業回数	100 cm以下	101—110	111—120	121—130	131—140	141—150	151—160	161—170	171—180	181—190	191—200	201—210	211—220	221 cm以上	計	漁獲尾数
まかじき	1	ハワイ南西 （5°N以南）	0—6N 169—162W	24							1 100								1 100	1

魚種	測定船数	漁場	操業区域	操業回数	80 cm 以下	81—90	91—100	101—110	111—120	121—130	131—140	141—150	151—160	161—170	171—180	181—190	191—200	201 cm 以上	計	漁獲尾数
めかじき	1	ガラパゴス	5—8S 118—112W	21													1 50.0	1 50.0	2 100	9
	2	ハワイ南西 (5°N以南)	0—5N 178—162W	60					1 20.0		1 20.0			1 20.0	2 40.0				5 100	14

鮪類水揚価格表（三崎）

昭和三十五年四月



マグロ漁況概況予報（1960年7月）

神奈川県水試　漁　業　指　導　科

東部太平洋第1漁場（20°N以北，150°W以東）

30°N，145°W 周辺のメバチは，150°W 以西の漁場と同様不漁期に当り，漁獲は低く1.0 屯程度，マカジキは好漁期に当り，0.2 屯程度の漁獲でしょう。

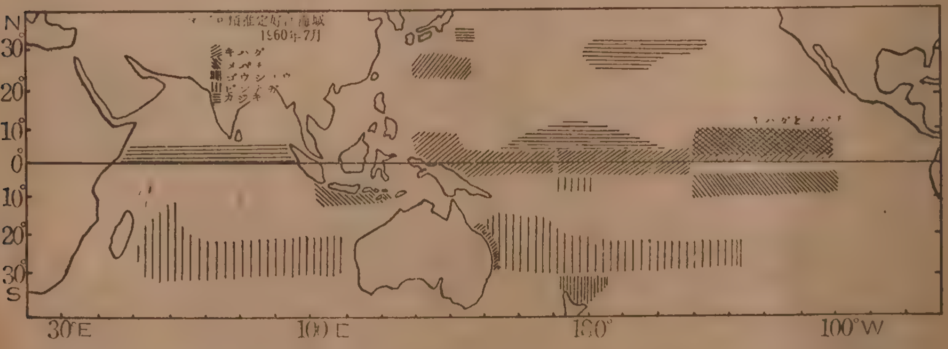
東部太平洋第2漁場（5〜20°N，150°W以東）

5〜13°N，150〜110°Wの海域のキハダは周年概して漁獲が低いが，7 月は好漁期に当り2.3 屯程度の漁獲，メバチは好漁期で北よりの海域が 5.8 屯，南よりの海域が 4.8 屯となるでしょう。

東部太平洋第3漁場（5°N〜10°S，150°W以東）

この漁場の漁獲は緯度によりかなり異なり，0〜5°N，150〜110°Wの海域は，キハダが低下途上であるがなお好漁期で 2.3 屯，メバチは3°Nの以北と以南とで漁獲が異なり，以北の水帯は好漁期で 5.1 屯，以南の水帯は 2.9 屯，0〜10°S，150〜110°Wの海域は，キハダが不漁期で 0.9 屯，メバチが 0〜3°S の水帯が不漁期で 1.5 屯，3〜10°S の水帯は好漁期で，3〜7°S の水帯が 6.8 屯，7〜10°S の水帯が3.8屯となるでしょう。

なお，メバチの好漁期に当る東部太平洋漁場と，メバチの不漁期に当る中部太平洋漁場との分布の境は，昨年，一昨年共に144°W付近にみられたので，この点注意することが必要です。



東部太平洋第4漁場（10〜30°S，150°W以東）

中部太平洋第 4 漁場と同様 22〜30°S の水帯のビンナガが好漁期に当り，1.5〜1.8 屯程度の漁獲がある見込みです。

中部太平洋第1漁場（20°N以北，180～150°W）

この漁場の主漁獲魚種であるメバチは不漁期に当り，漁獲は30°N以北の海域が0.8屯以南の海域が1.0屯，マカジキは好漁期に当り0.2屯となるでしょう。

中部太平洋第2漁場（5～20°N，170°E～150°W）

メバチが不漁期であるのに対し，キハダは5°N以南漁場の影響を受け比較的漁獲が高いので，キハダ0.8屯，メバチ1.0屯とほぼ同程度の漁獲となり，クロカワは好漁期に当り，0.4屯程度になるでしょう。

中部太平洋第3漁場（5°N～10°S，170°E～150°W）

主漁獲魚種のキハダが好漁期に当り概して全海域にわたり漁獲が高いが，5～10°Sの水帯は5°N～5°Sの水帯より周年やや漁獲が低い上，好漁期末期に当るので漁獲はかなり低く1.5屯，また，0～5°Nの180°からクリスマス島周辺にかけての海域は好漁期間中の一時低下期に当るため漁獲は同様に低く1.6屯，他の海域は全般的に高く，ギルバート諸島東方及び東南方海域は2.2屯，0～5°S，180～150°Wの海域は3.0屯の漁獲でしょう。

なお，キハダの外に，全海域にわたり0.5屯程度のメバチと0.2屯程度のクロカワが漁獲され，エリス島周辺では0.6屯程度のビンナガが漁獲されるでしょう。

中部太平洋第4漁場（10～30°S，170°E～150°W）

フィージー諸島西方では15～30°S，フィージー諸島周辺より150°Wに至る海域では22～30°Sの水帯のビンナガが好漁期で1.5～1.8屯程度の漁獲となる見込みです。

中部太平洋第5漁場（30°S以南，170°E～150°W）

ニュージランド北方海域のゴウシュウマグロはなお上昇途上と考えられるが既に最盛期に入り，漁獲は6.0屯となる見込みです。

西部太平洋第1漁場（20°N以北，180°以西）

25～35°N，150～180°Eの海域のメバチは上昇期に当り0.5屯，150°E以西のメバチは不漁期で漁獲は殆んどみられない見込み，なお，沖大東島から小笠原諸島にかけての海域のキハダと，伊豆諸島東方海域のメカジキは共に好漁期に当り，キハダが0.5屯，メカジキが0.2屯の漁獲となるでしょう。

西部太平洋第2漁場（5～20°N，170°E以西）

メバチは不漁期で0.3屯程度の漁獲であるが，トラック島以西の海域ではキハダが好漁期に当り，漁獲は1.5屯となるでしょう。

西部太平洋第3漁場（5°N～10°S，170°E以西）

この漁場のキハダは5°S以北と以南とで異なり，5°N～5°Sの海域は低下途上で全海域にわたり1.5～1.6屯程度の漁獲，5～10°Sの海域は不漁期で0.7屯の漁獲，なお，この外メバチが0.5屯程度漁獲がある見込みです。

西部太平洋第４漁場（10～30°S，170°E以西）

この漁場のキハダは不漁期で 0.7～1.0 屯の漁獲となるが，濠洲東岸沿海のキハダは 1.8～2.0 屯程度の漁獲がみられる見込み，ビンナガは濠洲沿岸を除く 15～30°S の全海域にわたり好漁期で，25°S以北の海域が 0.8～1.0 屯，25～30°S の海域が 1.3～1.5 屯の漁獲となるでしょう。

東部印度洋漁場（100°E以東）

キハダは不漁期ですが，大，小スンダ列島の極く沿海では 1.2 屯程度の漁獲，メバチは好漁期に当り，12°S以北の海域は 1.9 屯程度の漁獲でしょう。

また，22～30°S の水帯はビンナガが好漁期に当り，漁獲は 0.5 屯程度となる見込みです。

北部印度洋漁場（5°N以北）

ベンガル湾はキハダ，メバチ共に不漁期に当り，漁獲はキハダがなお低下途上で 1.1 屯，メバチは上昇途上で 0.3 屯，アラビア海のキハダもなお低下途上で不漁期に入り，漁獲はベンガル湾よりやや高く 1.8 屯となるでしょう。なお，アラビア海ではメバチもベンガル湾より漁獲が高く 1.4 屯となる見込みです。

中部印度洋漁場（5°N～10°S）

この漁場のキハダも不漁期に当り，70°E 付近以西の海域が 2.6 屯 70°E 付近以東の海域が2.0屯，また0～5°Nの水帯のクロカワは好漁期に当り，漁獲は昭和32年以降年々低下はしていますが，0.5屯程度の漁獲はある見込み，なお，その外に0.9屯のメバチと 0.1 屯のビンサガが漁獲されるでしょう。

南部印度漁場（10°S以南，100°E以西）

22～30°S，53°E以東の海域のビンナガは好漁期に当り，漁獲は 70°E 以西の海域が 2.2 屯，70°E以東の海域が 1.4 屯となる見込みです。

まぐろ研究報告の紹介
No. 12

濠印諸島海域のメバチの体長組成

三　村　皓　哉

（南海区水研報告　6,　1957）

濠印諸島海域をジャワ島南岸沖，チモール島沿海，バンダ，フローレス海の3海区に分け，各海区の体長組成，及びこれらと他海域のものとの比較を行ったところ，次の結果を得た。

A） 濠印諸島海域内の3海区の体長組成を総合して

1） 7～12月には，3海区とも130～160㎝のものが主体長群を構成し，全体のほぼ60%を占めている．

2） 1～6月には，ジャワ島南岸沖及びチモール島沿海では，主体長群は稍小型となっており同様の季節変化をするものと考えられる．これに反し，バンダ・フローレス海では7～12月と似通った組成を示し，季節による変化はないもようである．

3） 更に3海区のメバチの釣獲率が同様の季節変化を示す点を考え合わせると，　イ）ジャワ島南岸沖及びチモール島沿海は魚体組成と釣獲率の季節変化がほぼ一致しており，両海区のメバチは相当深いつながりを持つものと考えられる．ロ）上述の2海区とバンダ，フローレス海では，盛漁期における体長組成が類似し，かつ釣獲率の季節変化も一致しており，これらの間にも相互に何等かの関連のあることが予想される．

B） 濠印諸島海域と他海区との比較

諸海域の体長組成をその主体長群によって分類すると次のようになる．

i） 卓越した model group が2つ以上認められ，かつ比較的小型の魚群によって構成されるもの

—— 北部太平洋

ii） 卓越した model group が認められず，主体長群が一つの大きな山となって表われるもの

a） 主体長群の体長巾の広いもの

—— ハワイ・マーシャル海域

b） 主体長群の体長巾がa）程広くないもの

—— 濠印諸島海域・パラオ海域

西部太平洋におけるビンナガの産卵

上　柳　昭　治

（南海区水研報告　6,　1957）

西部太平洋におけるビンナガの産卵海域，産卵期等について，1949年以降実施して来たマグロ類生態調査の資料に基き考察したところ次のような結果を得た．

1） 産卵は亜熱帯収斂線以南の，北赤道流の影響下にある広範な海域にわたって，分散的に行われるものと推定される．

2） 産卵期は，6～7月を中心とした夏季と考えられる．その時期の性比は，大よそ雄7：雌3を示していた．

3） 雌の最小成体は，体長約90㎝と推定される．

4） 1産卵期中の産卵回数について推定が困難であるが，おそらく1回と思われる．

5） 孕卵数は約80～260万粒と推定された．

鮪漁業研究会々員名簿（続き）

番号	会員氏名	住所	職業	摘要
879	小沢留吉	三浦市三崎町入船53	房総丸	
880	金井漁業株式会社	北海道釧路市入船町6の11		
881	長谷川忠直	三浦市三崎町諸磯970	第28琴平丸	
882	唐木漁業株式会社	香川県大川郡津田町1226		
883	堀内清英	日魯漁業株式会社久里浜支社		
884	小林八郎	大洋漁業株式会社	第2東丸	
885	神白保治郎	宮城県気仙沼市魚町1	神明丸船主	
886	〃	〃		
887	大平清三	福島県磐城市中之作字長田8		
354	阿部善元	三浦市三崎町	第11福長丸船漁長	
888	小金井正一	神奈川県水産試験場	技師	
889	中込淳	〃	〃	
890	小林良雄	〃	〃	
891	森甚一	〃	〃	
892	楊塘海	台北市衡路106 信大漁業股份有限公司		
893	鈴木昭三	第5明福丸		
894	坂本忠三	大洋漁業株式会社	第33播州丸	
895	辻悳	三浦市三崎町山星魚問屋気付	進洋丸	
896	上村泰照	第8飯島丸		
897	兼松均	大洋漁業株式会社	第16東丸船長	
898	久保庄三	横須賀市浦賀室戸岬船員同志会	第5栄丸	
899	千葉喜三郎	第13西丸船長		
900	堺敬太郎	三浦市三崎町日之出		
901	高塚悌一	清水市島崎町	第8海神丸	
902	辺見勝克	第2コンピラ丸船長		
903	遠洋鮪延縄漁業鮪山丸組合	那覇市字与儀379		
904	田部増儀	横須賀市浦賀船員生活協同組合		
905	山本栄二	横須賀市浦賀室戸岬船員同志会	第7福丸	
906	橋本嶺吉	〃	〃	
907	吉原	北海道漁業公社東京支社	共恵丸	
908	村上	三浦市三崎町宮城	第12精良丸船長	

番号	会員氏名	住所	職業	摘要
2000	高山重嶺	東海区水産研究所	漁具漁法部長	
2001	天野慶之	〃		
2002	南海区水産研究所	高知市梭橋通6の2		
2003	南水研東京事務所	東京都中央区月島三号地		
2004	南水研焼津出張所	焼津市焼津魚市場前		
2005	南水研串本支所	和歌山県牟婁郡串本町		
2006	水産庁生産部海洋二課	東京都千代田区霞ヶ関2の1		
2007	水産庁調査研究部調査資料課資料班	東京都千代田区霞ヶ関2の1		
2008	西武男	東京都千代田区霞ヶ関2の1水産庁漁政部		
2009	東京水産大学々長	東京都港区芝海岸通6丁目		
2010	農林省農林経済局統計調査部	東京都千代田区霞ヶ関2の1		
2011	山本忠	農林省農林経済局統計調査部		
2012	萩尾弘	関東海運局船員部	労政課長	
2013	草間秀俊	東京工大水力学教室		
2014	井上元男	東海大学産業科学研究所水産研究部		
2015	蓬田秀雄	第三管区海上保安本部警備救難部	救護課長	
2016	長野正義	横須賀市長		
2017	太平洋鮪鰹漁船保険組合	東京都港区浜松町3の2		
2018	社団法人漁船協会	東京都千代田区丸ノ内丸ビル603号		
2019	静岡県鮪漁船漁撈長若汐会	静岡県清水市島崎町160の5		
2020	三菱日本重工業KK横浜造船所	横浜市西区緑町3の4の2		
2021	三菱造船株式会社	東京都千代田区丸ノ内2の3三菱本館		
2022	株式会社泉井鉄工所	高知県室戸市室戸町		
2023	株式会社東洋製作所	東京都品川区東品川5の61		
2024	株式会社三保造船所東京事務所	東京都中央区八重洲4建物ビル		
2025	七洋電機株式会社	東京都目黒区中目黒4の1315		
2026	協同低温工業株式会社	東京都千代田区神田佐久間町1の21山伝ビル		
2027	日本冷凍食品検査協会	東京都千代田区霞関3の3鋼鈑ビル		
2028	冷凍鮪輸出水産業組合	東京都千代田区平河町2の7		
2029	日本冷凍食品輸出組合	東京都千代田区霞ヶ関3の3鋼鈑ビル		
2030	穂高通信工業株式会社	東京都新宿区下落合1の6		
2031	神奈川県漁船保険組合	神奈川県庁水産課内		
2032	W. G. ヴァン・キャンペン	東京都港区赤坂アメリカ大使館		
2033	Patoricia Powell	California State Fisheries Laboratory Terminal Island Station, San Pedro, California, U.S.A.		
2034	Commonwealth Director of Fisheries	Department Commerce and Agriculture 15 Hamilton Street, Sydney.		
2035	Bureau of Commercial Fisheries Biological Laboratory	P.O. Box6121, Pt. Loma Station San Diego 6, California, U.S.A.		

鮪 漁 業 研 究 会 会 則 （昭和28年10月）

（名称及び位置）

第一条　本会は鮪漁業研究会と称する。

第二条　本会は事務所を神奈川県三浦市三崎町に置き必要に応じて支部を置くことができる。

（目的及び事業）

第三条　本会は鮪漁業の進歩発展並にその知識と技術の向上、普及を図ることを目的とする。

第四条　本会はその目的を達成するため左の事業を行う。

1. 鮪漁業に関する研究調査並に其の結果の発表
2. 外国に於ける鮪漁業に関する研究資料の蒐集紹介
3. 講演会及び談話会等の開催
4. 会誌の発行
5. その他本会の目的を達成するために必要な事項

（会　　員）

第五条　本会の会員は左の三種とする。

1. 正会員　本会の趣旨に賛成する鮪漁業に関する研究者、技術者及び鮪漁業経営者
2. 賛助会員　鮪漁業に関係しているもので本会の趣旨に賛成し本会の事業を財政的に援助するもの
3. 講読会員　本会の趣旨に賛成するもの

第六条　本会の会員は会費として左の金額を前納する。但し正会員については役員会の決議により会費を免除することができる。

1. 正会員　年額　1，500円
2. 賛助会員　年額　10，000円以上
3. 購読会員　年額　1，500円

第七条　本会の会員は本会の発行する会誌、書籍、フイルム等の頒布を受け且つ会誌に研究発表を行うことができる。

（役員、顧問、委員及び職員）

第八条　本会に左の役員を置く

1. 理　事　若干名
2. 監　事　若干名

第九条　理事、監事は正会員が之を互選し会長、副会長は理事が之を互選する。
理事及び監事の任期は二年とする。

第十条　会長は本会を代表して一切の会務を統理し、副会長は会長の職務を補け、理事は会務を分掌し監事は本会の会計事務を監査する。

第十一条　会長は役員会の決議により正会員中より地方委員を選任して本会の事務を嘱託することができる。

第十二条　本会に主事及び技師若干名を置き事務を処理する。

第十三条　本会に顧問を置くことができる。

（会　　議）

第十四条　理事はその総員を以って理事会を組織し本会の収支決算及び予算、財産目録、貸借対照表その他重要な事項を決議する。

第十五条　理事会の議長は会長がこれに任じ会長事故あるときは副会長がこれを代理する。

（会　　計）

第十六条　本会の経費は原則として会員より支出するも、会社団体及び個人の醵出金、寄附金等を受入れることができる。

第十七条　本会の会計年度は毎年四月一日に始まり翌年三月三十一日に終る。

本会の図書誌の分譲其の他について

◎本会発行の図書誌を分譲致しておりますから御申込下さい。

会　　誌「鮪 漁 業」第6—69号（第1—5号品切）　各150円　郵送料 16円

鮪類水揚地調査報告（自昭和 27 年 5 月 至昭和 28 年 4 月）
1 部 300円 （B 5 判 150 頁） 郵送料 24円

鮪類水揚地調査報告（自昭和 28 年 5 月 至昭和 29 年 3 月）
1 部 400円 （B 5 判 226 頁） 郵送料 40円

鮪類水揚地調査報告（自昭和 29 年 4 月 至昭和 30 年 3 月）
1 部 300円 （送料を含む）（B 5 判 126 頁）

鮪類水揚地調査報告（自昭和 30 年 4 月 至昭和 31 年 3 月）
1 部 400円 （送料を含む）（B 5 判 135 頁）

1956年4月～57年3月に於ける鮪漁場の漁況と海況
1 部 500円 （送料共）（B 5 判 112 頁）

鮪漁船操業図（航走距離早見表、鮪類年令対体長体重表刷込）
1 枚 50円 郵送料 8円

鮪　漁　場　図（海区別に表示したもの）
10 枚 100円 郵送料 16円

◎会員各位の鮪漁業に関する調査や研究或は体験、漁具漁法の改良、遭難防止等についての投稿其の他写真をお願い致します。

◎本会に入会を希望される方は住所、氏名、職業、会誌の送り先を記入の上年間会費 1,500 円（他に会誌送料 200 円）を添えて研究会宛御申込下さい。

◎本誌に広告掲載希望の方は本会伊藤専務理事迄御申込下さい。

◎昭和32年度版鮪類水揚地調査報告、残部僅少でありますが御希望の向は御申込下さい。定価 1 部 500円 但し既刊の昭和28年. 29年. 30年. 31年度分と一括購入の場合は 5 冊特価 1,600円（送料共）

尚昭和33年度版については 6 月末までに出来上る予定にて予約募集中につき御希望の方は別紙申込書により御申込下さい。

◎昭和33年分34年分会費（一ヵ年分 1,700 円）未納の方は本会宛至急払込送金方（振替貯金口座横浜1472）お願い致します。　尚整理の都合もあり会費切れの向には一時会誌の送本を中止することもありますからお含み願いあげます。

会費は前納の規則ですので昭和35年度分についても未払いの方は払込方よろしくお願いします。

鮪 漁 業
1960年 5 月号

昭 和 35 年 5 月 10 日 印 刷
昭 和 35 年 5 月 10 日 発 行
監　　修　神奈川県水産試験場
編集兼発行人　菅　野　進
神奈川県三浦市　神奈川県水産試験場内
発行所　鮪 漁 業 研 究 会

営業品目

商船用・漁船用並びに陸上用無線通信装置の製造

装備・補修一式

七洋電機株式会社

本社　東京都目黒区中目黒4丁目1315番地
電話荏原（712）2525・2526・3314番

高性能を誇る!!
鮪漁船用送受信機

穂高通信工業株式会社

本社及工場　東京都新宿区下落合一丁目六番地
電話落合（951）1136番（代表）

緑星社のSV60型ラジオブイ

用途；鮪延縄・鮭鱒流網・捕鯨・底曳トロール
漁具流失防止　位置確認　操業時間短縮　等々

株式会社　**緑星社**

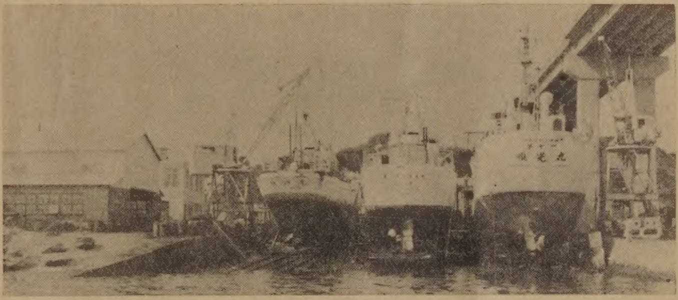
代表取締役　吉田内次

営業所　東京都中央区小田原町2の15　電話(541)代1505～6，1797～8
研究所　東京都中央区築地5の1（東京中央卸売市場内）
電話（541）2371
函館出張所　函館市根崎町140番地　電話函館(2)5825

＝設 備 完 成＝

鋼木船の造船修理一般

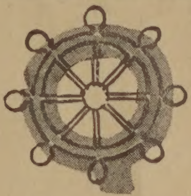
500噸　船台3基
起重機10噸・5噸各1基



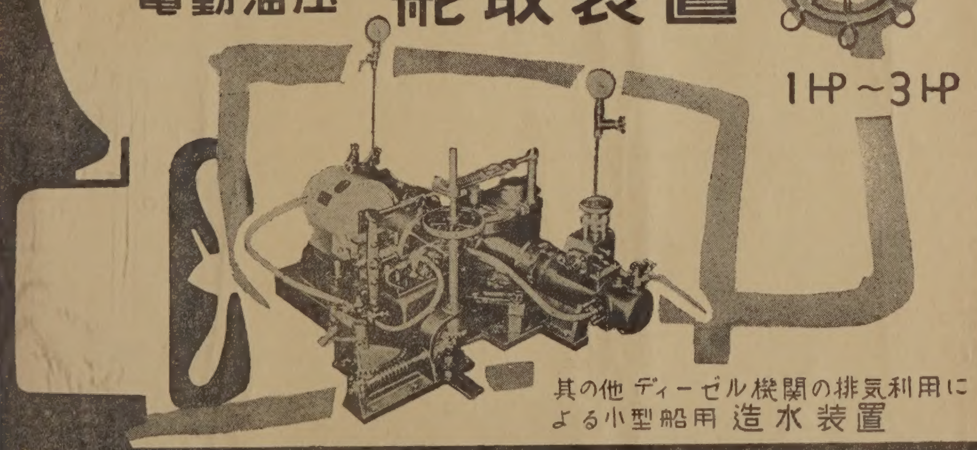
三崎船舶工業株式会社

本　社　東京都中央区西八丁堀2ノ10　電話築地（551）0996，0015
工　場　神奈川県三浦市三崎町向ヶ崎2446　電話（三浦）2880（代）3141

川崎ヘルショウ式
電動油圧　舵取装置



1HP～3HP



其の他 ディーゼル機関の排気利用による小型船用 造水装置

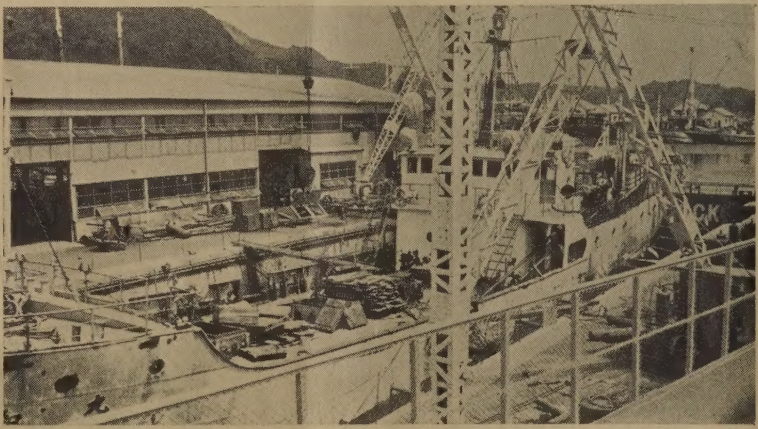
川崎重工業株式會社

神戸市生田区東川崎町二丁目一四（電）湊川(5)7531
東京支店　東京都港区芝田村町一丁目(日比谷ビル)(電)（59）6101
（本紙名記入の上御一報下さればカタログ御送附致します）

漁船の建造、修理の御相談は

ドライドック	大きさ	長さ	幅	深さ	
		59.15 米	14.0 米	6.6 米	
	入渠可能船舶	長さ(垂線間)	幅(型)	吃水(平均汐高線1.7米に於て)	総屯数
		57.0 米	11.0 米	4.41 米	800屯

船台兼船架	建造又は上架可能船舶	構造	長さ	総屯数	数量
		4条軌条算盤式	50 米	500屯	2
		2条軌条式	50 米	250屯	2



下田船渠株式会社

静岡県下田港　本社事務所　電話下田 1001(代表)〜3番　本社現場事務所　電話下田1005(代表)〜6番
武ヶ浜工場　電話下田 1008(代表)〜9番
東京事務所　東京都中央区銀座東4—4 畜産会館1階　電話東京(541)9270(直通),4121(代表)〜8番

紫綬褒章に輝やく
泉井式ラインホーラー

株式會社　泉井鉄工所
高知県室戸町

昭和三十一年二月二十三日　第三種郵便物認可